

平成 22 年 国 勢 調 査
< 産 業 等 基 本 集 計 結 果 (大 阪 市) >

平成 24 年 5 月
大 阪 市 計 画 調 整 局

平成 22 年国勢調査 < 産業等基本集計結果（大阪市） >

平成 22 年 10 月 1 日現在で実施した、平成 22 年国勢調査の産業等基本集計結果が、このたび総務省統計局から公表されましたので、大阪市分の概要をお知らせします。

目 次

1 労働力状態	1
2 従業上の地位	5
3 産業	9
4 教育	13
5 夫婦の労働力状態	14
6 外国人就業者の産業	15

産業等基本集計とは

産業等基本集計は、全ての調査票を用いて市区町村別の人口の労働力状態、就業者の産業別構成に関する結果及び夫婦と子供のいる世帯等に関する結果について集計したものです。

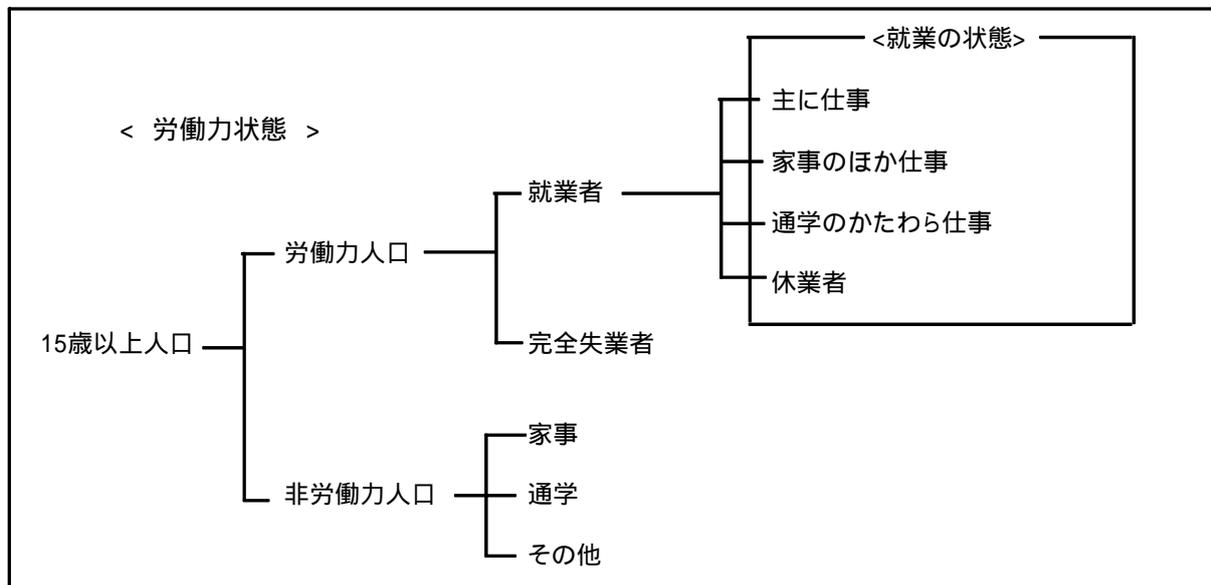
詳細な結果は、総務省統計局ホームページ「統計表一覧」をご覧ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>

用語の解説

労働力状態

「労働力状態」とは、15歳以上の人について、調査年の9月24日から30日までの1週間（以下「調査週間」という。）に「仕事をしたかどうかの別」により、次のとおり区分したものです。



産業

「産業」とは、就業者について、調査週間中にその人が実際に仕事をしてきた事業所の主な事業の種類によって分類したものをいいます（「休業者」（調査週間中仕事を休んでいた人）については、その人がふだん仕事をしている主な事業所の事業の種類）。

国勢調査に用いている産業分類は、日本標準産業分類を国勢調査に適合するように集約して編成したもので、分類の詳しさの程度により、大分類、中分類、小分類があり、産業等基本集計では、大分類について集計しています。

個々の産業分類の詳しい定義や内容例示については、総務省統計局ホームページ『平成22年国勢調査に用いる産業分類』を参照ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/users-g/pdf/sangyo.pdf>

その他の用語

その他の用語については、『平成22年国勢調査 調査結果の利用案内 - ユーザーズガイド - 』をご参照ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/users-g.htm>

1 労働力状態

労働力率は引き続き男性で低下、女性で上昇

平成 22 年における 15 歳以上人口 (233 万 3267 人) の労働力状態をみると、労働力率 (15 歳以上人口に占める労働力人口の割合) は 63.1% で、平成 17 年 (61.3%) と比べると 1.8 ポイントの上昇となっている。

男女別に労働力率をみると、男性は 75.1%、女性は 52.3% となっており、平成 17 年と比べると、男性が 0.1 ポイント低下し、女性が 3.6 ポイント上昇している。

(表 1 - 1、1 - 2、1 - 3、図 1 - 1、1 - 2)

図 1 - 1 労働力人口・労働力率の推移 (昭和60年～平成22年)

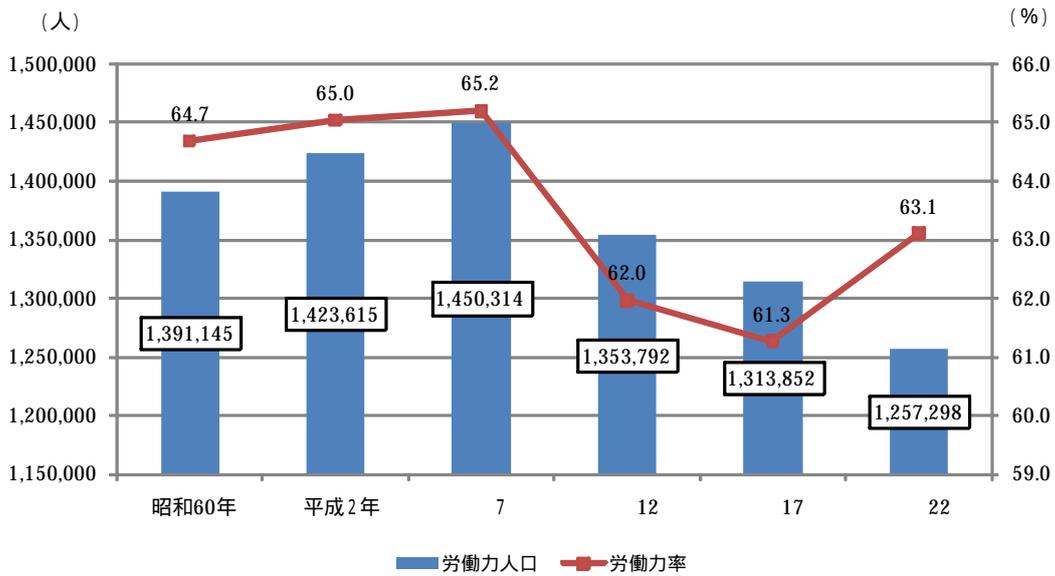


図 1 - 2 労働力人口・非労働力人口の推移 (昭和60年～平成22年)

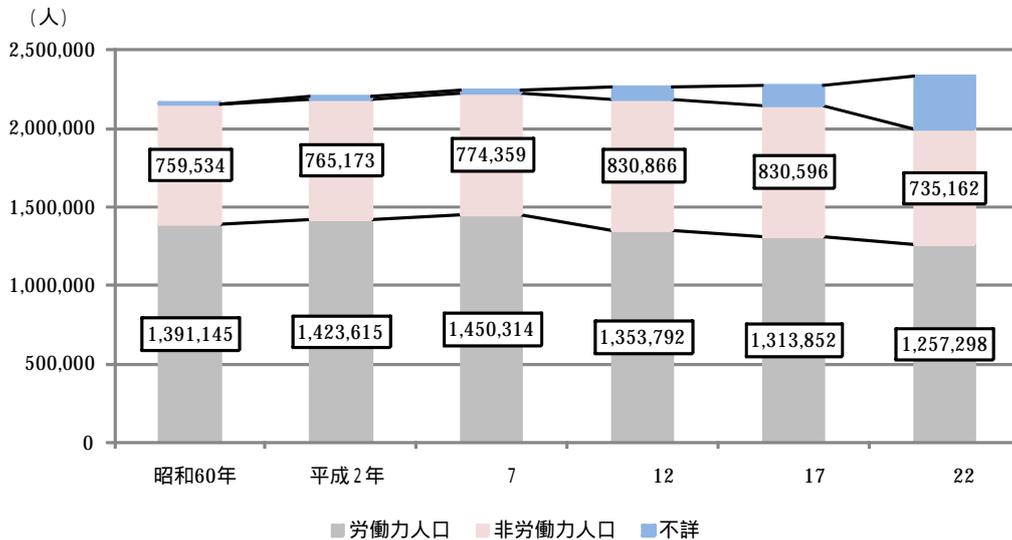


表1 - 1 労働力状態、男女別15歳以上人口の推移（昭和60年～平成22年）

男女、年次	15歳以上人口（人）						労働力率（％） 1)
	総数	労働力人口	就業者	完全失業者	非労働力人口	不詳	
総数							
昭和60年	2,156,878	1,391,145	1,310,666	80,479	759,534	6,199	64.7
平成2年	2,208,547	1,423,615	1,345,405	78,210	765,173	19,759	65.0
7	2,244,627	1,450,314	1,336,176	114,138	774,359	19,954	65.2
12	2,267,543	1,353,792	1,231,235	122,557	830,866	82,885	62.0
17	2,279,543	1,313,852	1,159,848	154,004	830,596	135,095	61.3
22	2,333,267	1,257,298	1,143,389	113,909	735,162	340,807	63.1
男							
昭和60年	1,050,045	860,416	803,665	56,751	186,088	3,541	82.2
平成2年	1,077,742	871,414	818,019	53,395	194,327	12,001	81.8
7	1,094,382	882,461	805,694	76,767	198,873	13,048	81.6
12	1,102,705	806,603	725,668	80,935	242,760	53,342	76.9
17	1,099,903	763,868	661,724	102,144	252,021	84,014	75.2
22	1,122,633	709,418	634,752	74,666	235,666	177,549	75.1
女							
昭和60年	1,106,833	530,729	507,001	23,728	573,446	2,658	48.1
平成2年	1,130,805	552,201	527,386	24,815	570,846	7,758	49.2
7	1,150,245	567,853	530,482	37,371	575,486	6,906	49.7
12	1,164,838	547,189	505,567	41,622	588,106	29,543	48.2
17	1,179,640	549,984	498,124	51,860	578,575	51,081	48.7
22	1,210,634	547,880	508,637	39,243	499,496	163,258	52.3

1) 15歳以上人口に占める労働力人口の割合。分母から労働力状態「不詳」を除いて算出している。

表1 - 2 労働力状態、男女別15歳以上人口の増減数の推移（昭和60年～平成22年）

男女、年次	総数	労働力人口			非労働力人口	不詳
		総数	就業者	完全失業者		
総数						
昭和60年	51,669	32,470	34,739	2,269	5,639	13,560
平成2年	36,080	26,699	9,229	35,928	9,186	195
7	22,916	96,522	104,941	8,419	56,507	62,931
12	12,000	39,940	71,387	31,447	270	52,210
17	53,724	56,554	16,459	40,095	95,434	205,712
男						
昭和60年	27,697	10,998	14,354	3,356	8,239	8,460
平成2年	16,640	11,047	12,325	23,372	4,546	1,047
7	8,323	75,858	80,026	4,168	43,887	40,294
12	2,802	42,735	63,944	21,209	9,261	30,672
17	22,730	54,450	26,972	27,478	16,355	93,535
女						
昭和60年	23,972	21,472	20,385	1,087	2,600	5,100
平成2年	19,440	15,652	3,096	12,556	4,640	852
7	14,593	20,664	24,915	4,251	12,620	22,637
12	14,802	2,795	7,443	10,238	9,531	21,538
17	30,994	2,104	10,513	12,617	79,079	112,177

表1 - 3 労働力状態、男女別15歳以上人口の増減率の推移（昭和60年～平成22年）

男女、年次	総数	労働力人口			非労働力人口	不詳
		総数	就業者	完全失業者		
総数						
昭和60年	2.4	2.3	2.7	2.8	0.7	-
平成2年	1.6	1.9	0.7	45.9	1.2	-
7	1.0	6.7	7.9	7.4	7.3	-
12	0.5	3.0	5.8	25.7	0.0	-
17	2.4	4.3	1.4	26.0	11.5	-
男						
昭和60年	2.6	1.3	1.8	5.9	4.4	-
平成2年	1.5	1.3	1.5	43.8	2.3	-
7	0.8	8.6	9.9	5.4	22.1	-
12	0.3	5.3	8.8	26.2	3.8	-
17	2.1	7.1	4.1	26.9	6.5	-
女						
昭和60年	2.2	4.0	4.0	4.6	0.5	-
平成2年	1.7	2.8	0.6	50.6	0.8	-
7	1.3	3.6	4.7	11.4	2.2	-
12	1.3	0.5	1.5	24.6	1.6	-
17	2.6	0.4	2.1	24.3	13.7	-

女性の労働力率は25歳以上の年齢階級で上昇し、M字カーブの谷が30～34歳から35～39歳に

平成22年の男女別労働力率を年齢(5歳階級)別にみると、男性は25歳から59歳までの各年齢階級で90%以上と高くなっている。一方、女性は25～29歳と45～49歳を山とし、35～39歳を谷とするM字カーブとなっており、M字カーブの山と谷の差は縮小傾向にある。

平成17年と比べると、男性は25歳から59歳までの各年齢階級は微増もしくは微減となっている。一方、女性は25歳以上の各年齢階級で上昇しており、M字カーブの谷は30～34歳から35～39歳の年齢層に移行した。(表1-4、図1-3)

図1-3 年齢(5歳階級)、男女別労働力率(昭和60年、平成17年、平成22年)

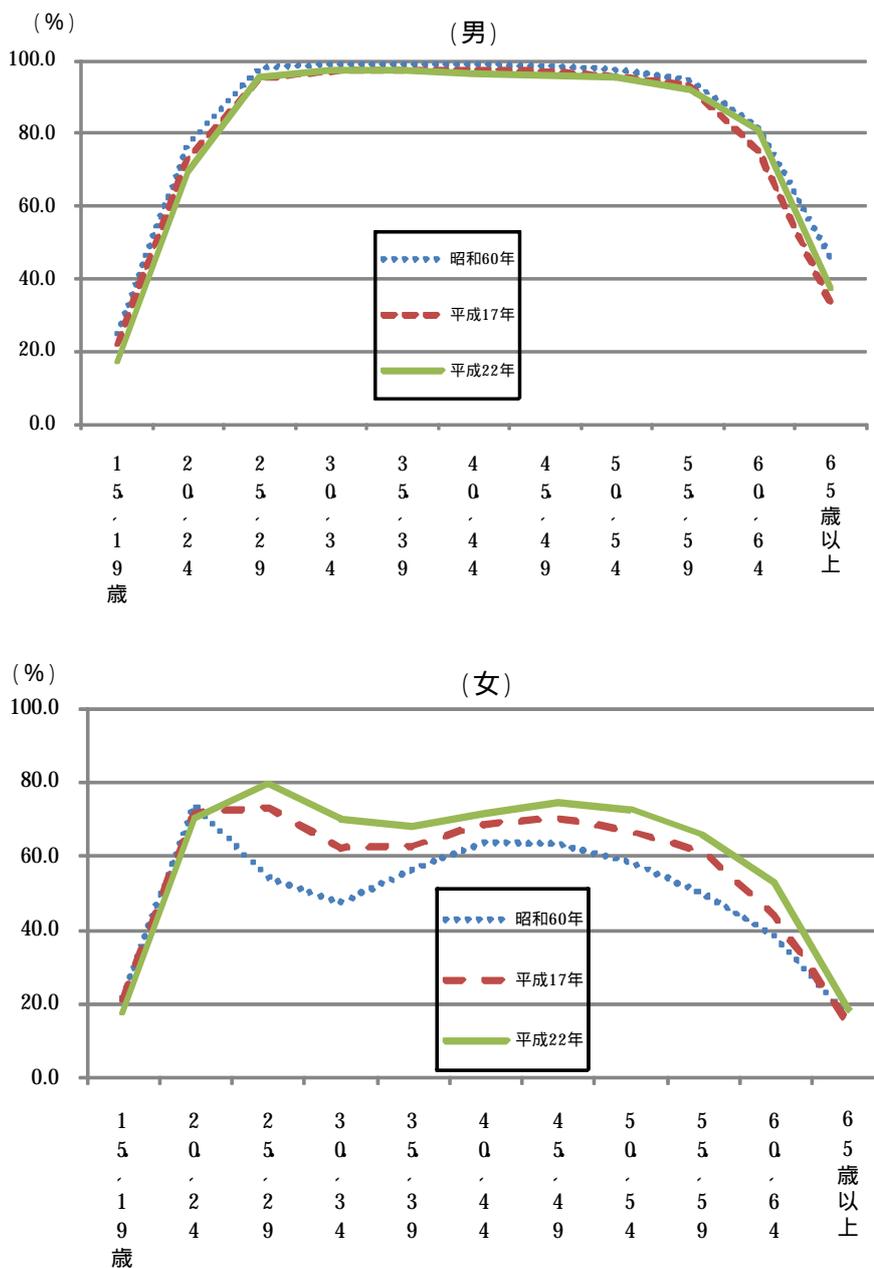


表 1 - 4 年齢（5 歳階級）、男女別労働力率の推移（昭和60年～平成22年）

(%)

男女、年齢	昭和60年	平成 2 年	7 年	12 年	17 年	22 年
男	82.2	81.8	81.6	76.9	75.2	75.1
15～19歳	24.5	25.6	23.6	20.6	21.7	17.1
20～24	76.7	79.2	77.6	72.6	73.0	69.2
25～29	97.8	97.8	97.0	94.7	95.3	95.4
30～34	99.0	98.8	98.5	96.4	97.1	97.3
35～39	99.0	98.9	98.7	96.9	97.4	97.3
40～44	98.9	98.8	98.6	96.7	97.4	96.7
45～49	98.3	98.5	98.3	95.8	97.0	96.2
50～54	97.4	97.6	97.7	94.8	95.6	95.3
55～59	94.6	95.2	95.6	92.0	93.1	92.2
60～64	81.7	80.0	81.4	73.6	74.9	80.5
65歳以上	45.1	42.9	43.6	36.8	33.0	37.1
女	48.1	49.2	49.7	48.2	48.7	52.3
15～19歳	21.6	21.9	19.6	18.6	20.9	17.7
20～24	73.3	75.5	73.7	71.1	71.5	69.9
25～29	54.0	60.7	65.4	67.8	73.0	79.4
30～34	47.4	48.9	53.4	56.3	62.3	69.9
35～39	56.3	55.5	56.6	58.2	62.7	68.1
40～44	63.8	63.5	62.4	64.0	68.5	71.7
45～49	63.3	66.3	65.7	64.9	70.2	74.7
50～54	58.3	62.3	64.6	64.5	66.4	72.6
55～59	49.9	52.6	57.2	58.4	61.0	65.5
60～64	38.2	38.5	40.4	41.3	43.7	52.9
65歳以上	16.3	16.4	16.6	15.1	14.4	18.3

2 従業上の地位

雇用者率は男女ともに 15 歳から 34 歳までの年齢層で 9 割超

平成 22 年の 15 歳以上就業者数 (114 万 3389 人) を従業上の地位別の割合をみると、「雇用者」(役員を含む) が 15 歳以上就業者数の 85.9%、「自営業主」(「家庭内職者」を含む) が 10.7%、「家族従業者」が 3.4%となっている。

また男女、年齢階級別にみると、男性は年齢階級が低いほど雇用者の割合が高く、15 歳から 34 歳までの各年齢階級で 90%を上回っており、一方、女性は男性と同様に年齢階級が低いほど雇用者の割合が高く、15 歳から 49 歳までの各年齢階級で 90%を上回っている。

(表 2 - 1、2 - 2、2 - 3、図 2 - 1)

図 2 - 1 従業上の地位別15歳以上就業者数の推移 (昭和60年～平成22年)

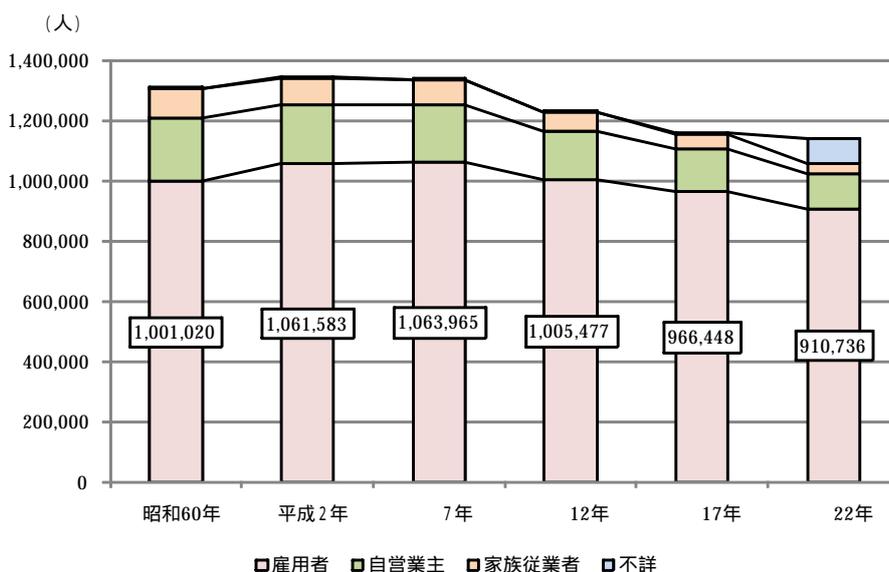


表 2 - 1 従業上の地位、男女別15歳以上就業者数の推移 (昭和60年～平成22年)

男女、年次	就業者数 (人)					増減率 (%)					構成比 (%) 4)				
	総数 1)	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳	総数 1)	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳	総数	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳
総数															
昭和60年	1,310,666	1,001,020	208,780	100,792	74	1.0	8.1	11.8	25.4	-	100.0	76.4	15.9	7.7	-
平成2年	1,345,405	1,061,583	194,156	89,589	77	2.7	6.1	7.0	11.1	-	100.0	78.9	14.4	6.7	-
7年	1,336,176	1,063,965	188,823	83,202	186	0.7	0.2	2.7	7.1	-	100.0	79.6	14.1	6.2	-
12年	1,231,235	1,005,477	162,948	62,732	78	7.9	5.5	13.7	24.6	-	100.0	81.7	13.2	5.1	-
17年	1,159,848	966,448	141,433	51,754	213	5.8	3.9	13.2	17.5	-	100.0	83.3	12.2	4.5	-
22年	1,143,389	910,736	113,009	36,436	83,208	1.4	5.8	20.1	29.6	-	100.0	85.9	10.7	3.4	-
男															
昭和60年	803,665	630,757	156,711	16,169	28	0.4	4.8	11.9	41.1	-	100.0	78.5	19.5	2.0	-
平成2年	818,019	658,089	144,723	15,186	21	1.8	4.3	7.6	6.1	-	100.0	80.5	17.7	1.9	-
7年	805,694	646,672	144,645	14,314	63	1.5	1.7	0.1	5.7	-	100.0	80.3	18.0	1.8	-
12年	725,668	591,059	123,595	10,982	32	9.9	8.6	14.6	23.3	-	100.0	81.5	17.0	1.5	-
17年	661,724	543,691	108,003	9,932	98	8.8	8.0	12.6	9.6	-	100.0	82.2	16.3	1.5	-
22年	634,752	495,542	85,147	7,183	46,880	4.1	8.9	21.2	27.7	-	100.0	84.3	14.5	1.2	-
女															
昭和60年	507,001	370,263	52,069	84,623	46	3.3	14.3	11.6	21.4	-	100.0	73.0	10.3	16.7	-
平成2年	527,386	403,494	49,433	74,403	56	4.0	9.0	5.1	12.1	-	100.0	76.5	9.4	14.1	-
7年	530,482	417,293	44,178	68,888	123	0.6	3.4	10.6	7.4	-	100.0	78.7	8.3	13.0	-
12年	505,567	414,418	39,353	51,750	46	4.7	0.7	10.9	24.9	-	100.0	82.0	7.8	10.2	-
17年	498,124	422,757	33,430	41,822	115	1.5	2.0	15.1	19.2	-	100.0	84.9	6.7	8.4	-
22年	508,637	415,194	27,862	29,253	36,328	2.1	1.8	16.7	30.1	-	100.0	87.9	5.9	6.2	-

1) 従業上の地位「不詳」を含む。 2) 「役員」を含む。 3) 「家庭内職者」を含む。 4) 従業上の地位「不詳」を除いて算出している。

表2-2 従業上の地位、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上就業者数（平成17年、22年）

（人）

男女、年齢	平成22年					平成17年				
	総数 1)	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳	総数 1)	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳
総数	1,143,389	910,736	113,009	36,436	83,208	1,159,848	966,448	141,433	51,754	213
15～19歳	15,513	13,939	137	116	1,321	19,570	19,169	103	297	1
20～24	76,755	67,989	682	542	7,542	88,438	86,414	765	1,247	12
25～29	115,144	100,267	2,074	1,245	11,558	123,764	118,199	3,160	2,394	11
30～34	121,063	103,908	4,959	2,006	10,190	141,977	130,129	7,934	3,898	16
35～39	139,596	117,592	8,856	3,153	9,995	126,628	111,633	10,789	4,193	13
40～44	126,687	105,315	10,134	3,122	8,116	116,874	100,678	11,940	4,247	9
45～49	115,245	95,772	10,336	3,049	6,088	103,281	87,015	12,001	4,257	8
50～54	99,028	81,021	10,340	3,012	4,655	112,299	91,584	15,382	5,322	11
55～59	103,657	81,689	12,796	4,077	5,095	135,610	104,889	22,671	8,029	21
60～64	107,454	77,912	17,654	5,779	6,109	90,298	62,891	20,145	7,238	24
65歳以上	123,247	65,332	35,041	10,335	12,539	101,109	53,847	36,543	10,632	87
男	634,752	495,542	85,147	7,183	46,880	661,724	543,691	108,003	9,932	98
15～19歳	7,485	6,717	70	80	618	9,822	9,557	68	196	1
20～24	36,373	31,874	400	331	3,768	42,207	40,939	449	809	10
25～29	59,871	51,256	1,373	717	6,525	66,509	62,789	2,333	1,381	6
30～34	67,899	57,302	3,706	891	6,000	84,357	76,395	6,115	1,840	7
35～39	80,634	66,666	6,843	1,174	5,951	75,110	65,078	8,564	1,461	7
40～44	71,007	57,310	7,907	926	4,864	66,442	56,059	9,332	1,048	3
45～49	63,145	50,916	7,954	639	3,636	58,422	48,353	9,330	736	3
50～54	54,882	43,827	7,868	460	2,727	64,926	52,367	11,983	573	3
55～59	59,446	46,121	9,907	416	3,002	79,895	61,862	17,467	557	9
60～64	62,736	45,302	13,523	472	3,439	53,354	37,522	15,441	390	1
65歳以上	71,274	38,251	25,596	1,077	6,350	60,680	32,770	26,921	941	48
女	508,637	415,194	27,862	29,253	36,328	498,124	422,757	33,430	41,822	115
15～19歳	8,028	7,222	67	36	703	9,748	9,612	35	101	0
20～24	40,382	36,115	282	211	3,774	46,231	45,475	316	438	2
25～29	55,273	49,011	701	528	5,033	57,255	55,410	827	1,013	5
30～34	53,164	46,606	1,253	1,115	4,190	57,620	53,734	1,819	2,058	9
35～39	58,962	50,926	2,013	1,979	4,044	51,518	46,555	2,225	2,732	6
40～44	55,680	48,005	2,227	2,196	3,252	50,432	44,619	2,608	3,199	6
45～49	52,100	44,856	2,382	2,410	2,452	44,859	38,662	2,671	3,521	5
50～54	44,146	37,194	2,472	2,552	1,928	47,373	39,217	3,399	4,749	8
55～59	44,211	35,568	2,889	3,661	2,093	55,715	43,027	5,204	7,472	12
60～64	44,718	32,610	4,131	5,307	2,670	36,944	25,369	4,704	6,848	23
65歳以上	51,973	27,081	9,445	9,258	6,189	40,429	21,077	9,622	9,691	39

1) 従業上の地位「不詳」を含む。 2) 「役員」を含む。 3) 「家庭内職者」を含む。

表2-3 従業上の地位、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上就業者数の構成比(平成17年、22年)

(%)

男女、年齢	平成22年4)					平成17年4)				
	総数 1)	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳	総数 1)	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳
総数	100.0	85.9	10.7	3.4	-	100.0	83.3	12.2	4.5	-
15～19歳	100.0	98.2	1.0	0.8	-	100.0	98.0	0.5	1.5	-
20～24	100.0	98.2	1.0	0.8	-	100.0	97.7	0.9	1.4	-
25～29	100.0	96.8	2.0	1.2	-	100.0	95.5	2.6	1.9	-
30～34	100.0	93.7	4.5	1.8	-	100.0	91.7	5.6	2.7	-
35～39	100.0	90.7	6.8	2.4	-	100.0	88.2	8.5	3.3	-
40～44	100.0	88.8	8.5	2.6	-	100.0	86.1	10.2	3.6	-
45～49	100.0	87.7	9.5	2.8	-	100.0	84.3	11.6	4.1	-
50～54	100.0	85.9	11.0	3.2	-	100.0	81.6	13.7	4.7	-
55～59	100.0	82.9	13.0	4.1	-	100.0	77.4	16.7	5.9	-
60～64	100.0	76.9	17.4	5.7	-	100.0	69.7	22.3	8.0	-
65歳以上	100.0	59.0	31.7	9.3	-	100.0	53.3	36.2	10.5	-
男	100.0	84.3	14.5	1.2	-	100.0	82.2	16.3	1.5	-
15～19歳	100.0	97.8	1.0	1.2	-	100.0	97.3	0.7	2.0	-
20～24	100.0	97.8	1.2	1.0	-	100.0	97.0	1.1	1.9	-
25～29	100.0	96.1	2.6	1.3	-	100.0	94.4	3.5	2.1	-
30～34	100.0	92.6	6.0	1.4	-	100.0	90.6	7.2	2.2	-
35～39	100.0	89.3	9.2	1.6	-	100.0	86.7	11.4	1.9	-
40～44	100.0	86.6	12.0	1.4	-	100.0	84.4	14.0	1.6	-
45～49	100.0	85.6	13.4	1.1	-	100.0	82.8	16.0	1.3	-
50～54	100.0	84.0	15.1	0.9	-	100.0	80.7	18.5	0.9	-
55～59	100.0	81.7	17.6	0.7	-	100.0	77.4	21.9	0.7	-
60～64	100.0	76.4	22.8	0.8	-	100.0	70.3	28.9	0.7	-
65歳以上	100.0	58.9	39.4	1.7	-	100.0	54.0	44.4	1.6	-
女	100.0	87.9	5.9	6.2	-	100.0	84.9	6.7	8.4	-
15～19歳	100.0	98.6	0.9	0.5	-	100.0	98.6	0.4	1.0	-
20～24	100.0	98.7	0.8	0.6	-	100.0	98.4	0.7	0.9	-
25～29	100.0	97.6	1.4	1.1	-	100.0	96.8	1.4	1.8	-
30～34	100.0	95.2	2.6	2.3	-	100.0	93.3	3.2	3.6	-
35～39	100.0	92.7	3.7	3.6	-	100.0	90.4	4.3	5.3	-
40～44	100.0	91.6	4.2	4.2	-	100.0	88.5	5.2	6.3	-
45～49	100.0	90.3	4.8	4.9	-	100.0	86.2	6.0	7.8	-
50～54	100.0	88.1	5.9	6.0	-	100.0	82.8	7.2	10.0	-
55～59	100.0	84.4	6.9	8.7	-	100.0	77.2	9.3	13.4	-
60～64	100.0	77.6	9.8	12.6	-	100.0	68.7	12.7	18.5	-
65歳以上	100.0	59.1	20.6	20.2	-	100.0	52.2	23.8	24.0	-

1) 従業上の地位「不詳」を含む。 2) 「役員」を含む。 3) 「家庭内職者」を含む。

4) 従業上の地位「不詳」を除いて算出している。

雇用者のうち、男性は「正規の職員・従業員」が8割弱、女性は「パート・アルバイト・その他」が5割弱

雇用者(役員を除く)83万8745人)の内訳をみると、「正規の職員・従業員」が雇用者の62.9%、「労働者派遣事業所の派遣社員」が4.5%、「パート・アルバイト・その他」が32.6%となっている。男女別にみると、男性は「正規の職員・従業員」が男性雇用者(役員を除く)の78.4%と最も高く、女性は「正規の職員・従業員」が女性雇用者(役員を除く)の45.7%、「パート・アルバイト・その他」が48.2%とほぼ均衡している。(表2-4、図2-2)

図2-2 従業上の地位、男女別15歳以上雇用者数構成比(22年)

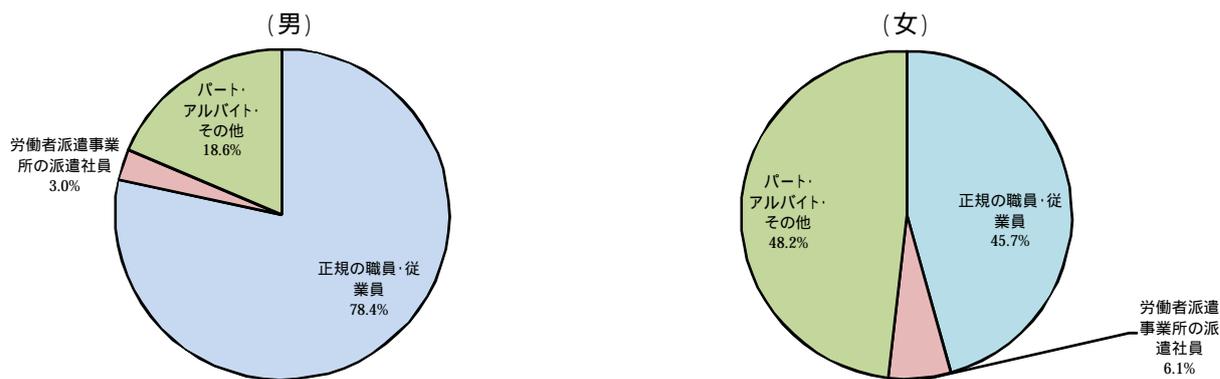


表2-4 従業上の地位、男女別15歳以上雇用者数・構成比(平成22年)

男女	平成22年							
	雇用者数(人)				構成比(%)			
	雇用者	正規の職員・従業員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・その他	雇用者	正規の職員・従業員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・その他
総数	838,745	527,768	37,587	273,390	100.0	62.9	4.5	32.6
男	441,906	346,324	13,379	82,203	100.0	78.4	3.0	18.6
女	396,839	181,444	24,208	191,187	100.0	45.7	6.1	48.2

3 産業

第3次産業就業者の割合は一貫して上昇

平成22年における15歳以上就業者数(114万3389人)を産業3部門別にみると、第1次産業就業者が15歳以上就業者の0.1%、第2次産業就業者は23.0%、第3次産業就業者は76.9%となっている。

産業3部門別就業者の割合の推移をみると、第2次産業を構成する製造業の就業者の大幅な減少により一貫して低下しており、昭和60年(構成比36.2%)から平成22年(同23.0%)の25年間で10ポイント以上低下している。一方、第2次産業の低下を吸収するように第3次産業は一貫して上昇しており、昭和60年(同63.6%)から平成22年(同76.9%)の間で10ポイント以上上昇している。

(注)(表3-1、図3-1)

(注)平成17年以前では、「労働者派遣事業所の派遣社員」は、産業大分類「サービス業(他に分類されないもの)」下の産業小分類「労働者派遣業」に分類されていたが、平成22年は派遣先の産業に分類していることから、時系列比較には注意を要する。

図3-1 産業(3部門)別15歳以上就業者数の構成比の推移(昭和60年~平成22年)

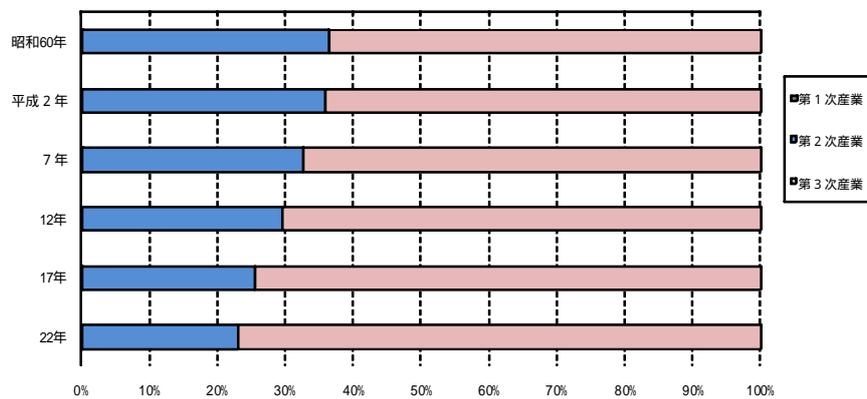


表3-1 産業(3部門)別15歳以上就業者数の推移(昭和60年~平成22年)

年次	就業者数(人)					構成比(%) 2)				
	総数 1)	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	分類不能の 産業	総数 1)	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	分類不能の 産業
昭和60年	1,310,666	1,939	473,159	830,216	5,352	100.0	0.1	36.2	63.6	-
平成2年	1,345,385	1,677	477,135	855,204	11,369	100.0	0.1	35.8	64.1	-
7	1,336,176	1,419	430,751	895,263	8,743	100.0	0.1	32.4	67.4	-
12	1,231,235	1,220	358,512	857,683	13,820	100.0	0.1	29.4	70.5	-
17	1,159,848	1,052	290,005	846,088	22,703	100.0	0.1	25.5	74.4	-
22	1,143,389	995	235,506	786,671	120,217	100.0	0.1	23.0	76.9	-

注 1) 「分類不能の産業」を含む。 2) 「分類不能の産業」を除いて算出している。

産業3部門の区分は次のとおり。

平成12年まで

第1次産業・・・「農業」、「林業」、「漁業」

第2次産業・・・「鉱業」、「建設業」、「製造業」

第3次産業・・・「電気・ガス・熱供給・水道業」、「運輸・通信業」、「卸売・小売業、飲食店」、「金融・保険業」、「不動産業」、「サービス業」、「公務(他に分類されないもの)」

平成17年

第1次産業・・・「農業」、「林業」、「漁業」

第2次産業・・・「鉱業」、「建設業」、「製造業」

第3次産業・・・「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業」、「卸売・小売業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「飲食店、宿泊業」、「医療、福祉」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「サービス業(他に分類されないもの)」、「公務(他に分類されないもの)」

平成22年

第1次産業・・・「農業、林業」、「漁業」

第2次産業・・・「鉱業、採石業、砂利採取業」、「建設業」、「製造業」

第3次産業・・・「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「卸売、小売業」、「金融、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」、「複合サービス事業」、「サービス業(他に分類されないもの)」、「公務(他に分類されるものを除く)」

就業者数の割合が最も高い産業は「卸売業、小売業」

平成 22 年の 15 歳以上就業者数（114 万 3389 人）を産業（大分類）別にみると、「卸売業、小売業」が 15 歳以上就業者の 18.4%と最も高く、次いで「製造業」が 14.3%、「医療、福祉」が 9.5%、「宿泊業、飲食サービス業」が 7.5%、「サービス業（他に分類されないもの）」が 6.4%など、この 5 産業で 15 歳以上就業者数の 56.1%と過半数を占めている。（表 3 - 2 - (1) ~ (3)、図 3 - 2）

図 3 - 2 産業（大分類）別15歳以上就業者構成比（平成22年）

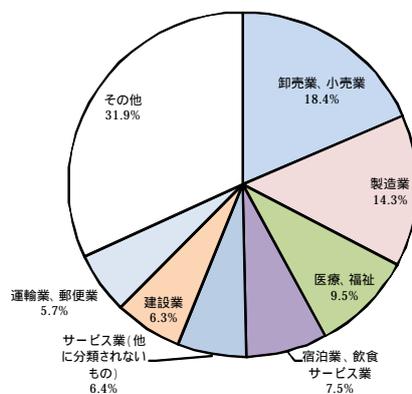


表 3 - 2 - (1) 産業（大分類）別15歳以上就業者数の推移（昭和60年～平成12年）

産業（大分類）	60年	平成2年	7年	12年
就業者数（人）				
総数 1)	1,310,666	1,345,385	1,336,176	1,231,235
A 農業	1,666	1,441	1,190	1,017
B 林業	147	128	129	103
C 漁業	126	108	100	100
D 鉱業	130	134	160	218
E 建設業	115,418	133,472	138,726	119,162
F 製造業	357,611	343,529	291,865	239,132
G 電気・ガス・熱供給・水道業	5,417	5,047	5,711	5,476
H 運輸・通信業	85,453	89,095	90,153	85,138
I 卸売・小売業、飲食店	421,126	404,614	392,120	369,800
J 金融・保険業	35,670	37,180	35,166	30,121
K 不動産業	20,667	28,441	28,243	27,130
L サービス業	244,629	274,019	326,022	322,819
M 公務（他に分類されないもの）	17,254	16,808	17,848	17,199
N 分類不能の産業	5,352	11,369	8,743	13,820
産業別構成比（%）				
総数 1)	100.0	100.0	100.0	100.0
A 農業	0.1	0.1	0.1	0.1
B 林業	0.0	0.0	0.0	0.0
C 漁業	0.0	0.0	0.0	0.0
D 鉱業	0.0	0.0	0.0	0.0
E 建設業	8.8	9.9	10.4	9.7
F 製造業	27.3	25.5	21.8	19.4
G 電気・ガス・熱供給・水道業	0.4	0.4	0.4	0.4
H 運輸・通信業	6.5	6.6	6.7	6.9
I 卸売・小売業、飲食店	32.1	30.1	29.3	30.0
J 金融・保険業	2.7	2.8	2.6	2.4
K 不動産業	1.6	2.1	2.1	2.2
L サービス業	18.7	20.4	24.4	26.2
M 公務（他に分類されないもの）	1.3	1.2	1.3	1.4
N 分類不能の産業	0.4	0.8	0.7	1.1

1) 「分類不能の産業」を含む。

表3 - 2 - (2) 産業（大分類）別15歳以上就業者数（平成17年）

産業（大分類）	就業者数 （人）	構成比 （％）
総数 1)	1,159,848	100.0
A 農業	933	0.1
B 林業	54	0.0
C 漁業	65	0.0
D 鉱業	51	0.0
E 建設業	93,412	8.1
F 製造業	196,542	16.9
G 電気・ガス・熱供給・水道業	4,018	0.3
H 情報通信業	35,807	3.1
I 運輸業	66,478	5.7
J 卸売・小売業	245,096	21.1
K 金融・保険業	26,582	2.3
L 不動産業	30,798	2.7
M 飲食店、宿泊業	93,477	8.1
N 医療、福祉	96,003	8.3
O 教育、学習支援業	38,590	3.3
P 複合サービス事業	7,936	0.7
Q サービス業（他に分類されないもの）	183,855	15.9
R 公務（他に分類されないもの）	17,448	1.5
S 分類不能の産業	22,703	2.0

1) 「分類不能の産業」を含む。

平成17年国勢調査に用いた産業分類は、平成14年3月に改訂された日本標準産業分類を基に、平成17年国勢調査の集計用に再編成したもので、平成12年以前の分類とは異なる。

表3 - 2 - (3) 産業（大分類）別15歳以上就業者数（平成22年）

産業（大分類）	就業者数 （人）	構成比 （％）
総数 1)	1,143,389	100.0
A 農業、林業	947	0.1
B 漁業	48	0.0
C 鉱業、採石業、砂利採取業	34	0.0
D 建設業	71,928	6.3
E 製造業	163,544	14.3
F 電気・ガス・熱供給・水道業	3,681	0.3
G 情報通信業	37,847	3.3
H 運輸業、郵便業	65,513	5.7
I 卸売業、小売業	210,611	18.4
J 金融業、保険業	27,086	2.4
K 不動産業、物品賃貸業	33,688	2.9
L 学術研究、専門・技術サービス業	40,145	3.5
M 宿泊業、飲食サービス業	85,347	7.5
N 生活関連サービス業、娯楽業	41,941	3.7
O 教育、学習支援業	37,831	3.3
P 医療、福祉	108,387	9.5
Q 複合サービス事業	2,832	0.2
R サービス業（他に分類されないもの）	73,735	6.4
S 公務（他に分類されるものを除く）	18,027	1.6
T 分類不能の産業	120,217	10.5

1) 「分類不能の産業」を含む。

平成22年国勢調査で用いる産業分類は、平成19年11月に改定された日本標準産業分類を基準としているため、平成17年以前とは分類が異なる。

「15～19歳」の年齢階級では「宿泊業、飲食サービス業」の就業者の割合が最も高い

産業（大分類）別就業者数の割合を年齢（5歳階級）別にみると、「15～19歳」での「宿泊業、飲食サービス業」の就業者数の割合が最も高い他は、「卸売業、小売業」の就業者数の割合が最も高くなっている。

表3-3 産業（大分類）、年齢（5歳階級）別15歳以上就業者数の構成比（平成22年）

産業（大分類）	総数	（％）										
		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
総数 1)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 農業，林業	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
B 漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C 鉱業，採石業，砂利採取業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
D 建設業	6.3	3.5	3.7	4.3	5.9	7.6	7.7	6.8	6.7	7.4	7.2	5.0
E 製造業	14.3	7.7	9.1	11.1	13.3	15.1	15.9	15.6	15.1	15.6	15.7	15.6
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.0
G 情報通信業	3.3	0.3	3.6	6.1	6.3	4.7	3.9	3.3	2.2	1.4	0.9	0.3
H 運輸業，郵便業	5.7	2.7	3.5	4.0	4.7	5.9	6.6	6.6	6.6	7.0	7.9	4.8
I 卸売業，小売業	18.4	22.4	20.1	18.3	17.6	17.8	17.5	18.2	18.9	18.7	18.0	19.4
J 金融業，保険業	2.4	0.1	2.4	3.0	2.3	2.4	3.0	3.3	3.1	2.3	1.4	0.8
K 不動産業，物品賃貸業	2.9	0.6	1.3	1.9	2.0	2.0	2.2	2.3	2.6	3.1	4.4	7.5
L 学術研究，専門・技術サービス業	3.5	0.5	1.9	3.9	4.6	4.4	4.1	3.9	3.7	3.3	2.7	2.4
M 宿泊業，飲食サービス業	7.5	33.2	13.3	6.4	6.0	6.0	5.8	5.7	6.3	7.5	8.8	7.7
N 生活関連サービス業，娯楽業	3.7	3.9	6.6	4.7	3.6	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	3.6	4.9
O 教育，学習支援業	3.3	2.6	4.3	4.2	3.5	3.0	2.9	3.7	4.7	3.9	2.3	1.5
P 医療，福祉	9.5	3.3	11.0	11.7	10.9	9.8	10.2	11.0	10.6	8.8	7.0	5.2
Q 複合サービス事業	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0
R サービス業（他に分類されないもの）	6.4	2.6	3.5	4.7	5.4	5.6	5.7	5.9	6.4	8.1	10.0	9.3
S 公務（他に分類されるものを除く）	1.6	0.3	1.2	2.1	2.0	1.7	1.7	2.0	2.0	1.9	0.9	0.3
T 分類不能の産業	10.5	16.0	14.1	13.0	11.4	10.1	9.3	8.1	7.3	7.6	8.9	14.9

4 教育

男女ともに「短大・高専」「大学・大学院」卒業者が増加

平成22年における15歳以上人口(233万3267人)のうち、卒業者は15歳以上人口の93.5%となっており、最終卒業学校の種類別にみると、「高校・旧中」が30.8%と最も高く、次いで「大学・大学院」が14.5%などとなっている。(表4-1)

表4-1 最終卒業学校の種類、男女別15歳以上人口(平成12年、22年)

男女、 最終学歴、 学校の種類	15歳以上人口(人)		割合(%)		増減率(%)
	平成12年	平成22年	平成12年	平成22年	平成12年 ~平成22年
総数 1)	2,267,543	2,333,267	100.0	100.0	2.9
卒業者 2)	2,098,941	2,181,395	92.6	93.5	3.9
小学校・中学校	460,823	290,210	20.3	12.4	37.0
高校・旧中 3) 4)	999,786	718,958	44.1	30.8	28.1
短大・高専 3)	233,126	245,360	10.3	10.5	5.2
大学・大学院 3)	280,582	338,774	12.4	14.5	20.7
(卒業者)不詳	124,624	588,093	5.5	25.2	-
在学者	164,046	146,241	7.2	6.3	10.9
未就学者	4,556	4,982	0.2	0.2	9.4
男	1,102,705	1,122,633	100.0	100.0	1.8
卒業者 2)	1,015,297	1,045,075	92.1	93.1	2.9
小学校・中学校	214,484	137,024	19.5	12.2	36.1
高校・旧中 3) 4)	471,810	328,336	42.8	29.2	30.4
短大・高専 3)	57,314	59,697	5.2	5.3	4.2
大学・大学院 3)	203,668	224,515	18.5	20.0	10.2
(卒業者)不詳	68,021	295,503	6.2	26.3	-
在学者	86,220	75,510	7.8	6.7	12.4
未就学者	1,188	1,715	0.1	0.2	44.4
女	1,164,838	1,210,634	100.0	100.0	3.9
卒業者 2)	1,083,644	1,136,320	93.0	93.9	4.9
小学校・中学校	246,339	153,186	21.1	12.7	37.8
高校・旧中 3) 4)	527,976	390,622	45.3	32.3	26.0
短大・高専 3)	175,812	185,663	15.1	15.3	5.6
大学・大学院 3)	76,914	114,259	6.6	9.4	48.6
(卒業者)不詳	56,603	292,590	4.9	24.2	-
在学者	77,826	70,731	6.7	5.8	9.1
未就学者	3,368	3,267	0.3	0.3	3.0

1) 在学か否かの別「不詳」を含む。

2) 最終卒業学校の種類「不詳」を含む。

3) 専修学校専門課程(専門学校)・各種学校については、入学資格や修業年限によりいずれかの学校区分に含まれる。

4) 専修学校高等課程(高等専修学校)を含む。

5 夫婦の労働力状態

夫婦ともに「就業者」の世帯の割合は夫婦のいる一般世帯数の約4割

夫婦のいる一般世帯数(53万361世帯)を夫婦の就業・非就業別(注)にみると、夫婦ともに「就業者」の世帯が夫婦のいる一般世帯数の43.3%、夫婦ともに「非就業者」の世帯が19.3%となっている。

また、夫婦のいる「子供があり」の一般世帯数(22万3671世帯)を同じく夫婦の就業・非就業別にみると、夫婦ともに「就業者」の世帯が夫婦のいる「子供があり」の一般世帯数の38.3%、夫婦ともに「非就業者」の世帯が31.8%となっている。(表5-1)

(注)一つの世帯に複数の夫婦がいる場合、「夫婦の就業状態」は、最も若い夫婦に着目している。

表5-1 子供の有無、夫婦の就業・非就業別夫婦のいる一般世帯数

		総数 1)	夫が 就業者 2)		夫が 非就業者 2)		妻が 就業者	妻が 非就業者	不詳
			妻が 就業者	妻が 非就業者	妻が 就業者	妻が 非就業者			
人数 (人)	総数	530,361	368,748	205,932	158,371	112,637	19,847	91,638	54,573
	子供があり	223,671	124,610	74,084	47,915	72,373	9,907	61,624	30,141
	子供がなし	306,690	244,138	131,848	110,456	40,264	9,940	30,014	24,432
構成比 (%)	総数	100.0	76.6	43.3	33.3	23.4	4.2	19.3	
	子供があり	100.0	63.0	38.3	24.8	37.0	5.1	31.8	
	子供がなし	100.0	85.8	46.7	39.1	14.2	3.5	10.6	

(1) 実数は夫婦の労働力状態「不詳」を含む。割合は「不詳」を除いて算出している。

(2) 実数は妻の労働力状態「不詳」を含む。

6 外国人就業者の産業

外国人就業者数が最も多い産業は「製造業」

平成22年における15歳以上外国人就業者数(3万7456人)を産業(大分類)別にみると、「製造業」が15歳以上外国人就業者数の18.1%と最も高く、次いで「卸売業、小売業」が14.8%、「宿泊業、飲食サービス業」が12.1%などとなっている。

国籍別にみると、「ベトナム」は「製造業」が70.4%と最も高く、「イギリス」は「教育、学習支援業」が70.1%と最も高くなっている。(表6-1、6-2)

表6-1 産業(大分類)別15歳以上外国人就業者数(平成22年)

産業(大分類)	外国人		(参考)日本人	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
総数	37,456	100.0	1,098,780	100.0
A 農業、林業	12	0.0	935	0.1
B 漁業	-	-	48	0.0
C 鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.0	33	0.0
D 建設業	2,138	5.7	69,783	6.4
E 製造業	6,790	18.1	156,735	14.3
F 電気・ガス・熱供給・水道業	18	0.0	3,663	0.3
G 情報通信業	765	2.0	37,080	3.4
H 運輸業、郵便業	1,542	4.1	63,958	5.8
I 卸売業、小売業	5,542	14.8	205,046	18.7
J 金融業、保険業	532	1.4	26,552	2.4
K 不動産業、物品賃貸業	1,023	2.7	32,665	3.0
L 学術研究、専門・技術サービス業	802	2.1	39,336	3.6
M 宿泊業、飲食サービス業	4,521	12.1	80,813	7.4
N 生活関連サービス業、娯楽業	1,283	3.4	40,647	3.7
O 教育、学習支援業	1,424	3.8	36,402	3.3
P 医療、福祉	2,693	7.2	105,688	9.6
Q 複合サービス事業	19	0.1	2,813	0.3
R サービス業(他に分類されないもの)	1,856	5.0	71,871	6.5
S 公務(他に分類されるものを除く)	62	0.2	17,964	1.6
T 分類不能の産業	6,433	17.2	106,748	9.7

表6-2 産業(大分類)別15歳以上外国人就業者構成比(平成22年)

産業(大分類)	総数	韓国、朝鮮	中国	フィリピン	タイ	インドネシア	ベトナム	イギリス	アメリカ	ブラジル	ペルー	その他1)	(参考)日本人
総数 (人)	37,456	25,769	5,686	651	179	119	270	144	389	371	142	3,736	1,098,780
総数 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 農業、林業 (%)	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1
B 漁業 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
C 鉱業、採石業、砂利採取業 (%)	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
D 建設業 (%)	5.7	7.3	2.9	3.2	1.7	8.4	0.7	2.1	0.3	4.0	2.8	1.1	6.4
E 製造業 (%)	18.1	18.1	21.3	28.3	11.7	46.2	70.4	4.2	2.3	59.0	57.0	4.0	14.3
F 電気・ガス・熱供給・水道業 (%)	0.0	0.1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3
G 情報通信業 (%)	2.0	1.7	4.2	1.4	2.2	3.4	3.3	2.1	2.6	0.8	1.4	1.2	3.4
H 運輸業、郵便業 (%)	4.1	5.2	2.6	2.8	-	4.2	1.5	0.7	0.3	2.4	1.4	0.7	5.8
I 卸売業、小売業 (%)	14.8	15.6	20.3	8.3	11.7	7.6	5.6	2.8	4.9	4.9	6.3	5.7	18.7
J 金融業、保険業 (%)	1.4	1.9	0.5	0.8	-	-	-	-	0.5	-	-	0.2	2.4
K 不動産業、物品賃貸業 (%)	2.7	3.3	2.3	0.8	1.1	2.5	0.4	-	1.0	-	-	0.4	3.0
L 学術研究、専門・技術サービス業 (%)	2.1	2.2	2.6	0.3	1.1	1.7	1.9	6.3	5.4	1.3	1.4	1.3	3.6
M 宿泊業、飲食サービス業 (%)	12.1	12.0	16.7	19.7	24.6	12.6	3.0	-	3.1	5.1	4.2	6.9	7.4
N 生活関連サービス業、娯楽業 (%)	3.4	3.7	2.8	4.8	2.2	0.8	0.7	4.2	14.9	3.5	5.6	1.6	3.7
O 教育、学習支援業 (%)	3.8	2.5	2.5	1.5	1.7	1.7	0.7	70.1	54.5	1.1	1.4	8.4	3.3
P 医療、福祉 (%)	7.2	9.3	2.8	8.1	15.6	4.2	-	0.7	2.3	2.7	1.4	0.9	9.6
Q 複合サービス事業 (%)	0.1	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3
R サービス業(他に分類されないもの) (%)	5.0	5.8	3.6	8.0	12.8	2.5	3.7	0.7	2.8	2.4	1.4	1.0	6.5
S 公務(他に分類されるものを除く) (%)	0.2	0.2	0.1	-	-	-	-	0.7	1.3	-	-	0.2	1.6
T 分類不能の産業 (%)	17.2	11.2	14.8	12.1	13.4	4.2	8.1	5.6	3.9	12.7	15.5	66.3	9.7

1) 無国籍及び国名「不詳」を含む。